

# 平成26年度総会

## 4月26日土曜日開催

蓮田市図書館視聴覚ホールにて、平成26年度総会が開催されました。総会が開催されました。委任状を含む29名の出席があり、長嶋佑介さんが議長となり、議事が進められ「平成25・26年度事業報告・決算・予算など」1号議案から5号議案まで質疑応答の後、提案通りの内容で承認されました。平成26年度から理事に小野寺貞幸さんが加わり役員構成は以下の通りとなりました。今年度もよろしくお願い致します。

### 寺子屋講座

#### 児童福祉施設活動から現代社会を考える

少子高齢化時代が進行し、独居高齢者が急増しております。一人暮らしでいく現状が報じられております。高齢者が、平成47年には762万人になるとか、埼玉県は沖繩に次いで全国二番目増加率(83%)だと報じられています。



講師の瓜巢さん

「実」についてのお話をうかがいました。大学教授時代の専門的なお話や現場での生々しいお話などから、福祉と介護の現実には横たわる問題点や矛盾が浮き彫りにされました。日本は法律や制度は良く出来ており、デンマークやスウェーデンに引けをとらない状況にあるが運用面や人間性のあり方に大きな問題があるようです。専門の学問を学んだ人は、高評価、高待遇され、実際に現場で汗を流して働く人の評価、待遇と大きな矛盾があるようです。これらの矛盾を改善していくことが急務で、現実の質をどう高めていくかがポイントのようです。瓜巢さんは知的障害者施設を運営されておられ、その実体験から、カネやモノではなく人間のあり方の見直しを強調されていきます。

子供は養育者を必要とし、高齢者は介護を必要とします。この循環とどう向き合っていくべきか。なかなか難しい問いかけです。瓜巢さんはこれに対して、「ふるさとづくり」を上げておられます。ここで言う「ふるさと」とは、美しい風土だけでなく、心と心の繋がりのある地域”を意味します。また、”人を信じる生き方ができる社会”づくりが大切であると強調されています。そして”そ

の社会づくりは自分から”と思っております。とまとめられておられました。我々、蓮田・白岡地方ユネスコ協会の活動も、この地域の「ふるさとづくり」を目指しており、少しでも貢献できるように頑張っていきたいと思っております。



総会・記念撮影

にあたっていく事を確認致しました。(飯島記)

### 埼玉県ユネスコ連絡協議会

#### 平成26年度 第1回 理事役員会・総会

平成26年4月28日午後2時より越谷文化会館にて埼玉県ユネスコ連絡協議会が開かれ、蓮田・白岡地方ユネスコ協会からは田村会長、飯島が出席した。

埼玉7協会の内6協会が出席、越谷ユネスコ協会の中野会長が議長となり議事進行を進めた。平成25年度関東ブロック活動研究会in埼玉の決

承認された。役員改選については中野会長より、関東ブロック研究会in埼玉も無事終了したとの事で辞意表明があり、平成26年度埼玉ユネスコ協会の会長に深谷ユネスコ協会の清水國男氏が選任された。副会長は変更なし。その他埼玉県ユネスコ協会としての、研究会活動を10月12月深谷開催する旨の提案があり、洪沢栄一記念館、深谷駅見学などが検討された。(飯島記)

# きずな



蓮田・白岡地方ユネスコ協会

## 第10回 地域文化遺産スタディ

### 蓮田・白岡の中世(Ⅰ)開催

#### 古文書から紐解かれる英雄の動き 戦国時代を中心に

当協会の「わが町を知る」学びの場の提供と、地域理解の活動の一環としての本講座も、発足後10回を迎え平成26年2月23日(日)に白岡市「はびすしらおか」にて開催致しました。(蓮田市及び白岡市教育委員会・(公社)日本ユネスコ協会連盟後援、参加者も回を追うごとに増え、今回は137名の参加となり通路に席を追加する等、大変な盛況となりました。今回は会員や地域文化遺産スタディの参加者から



講師の新井さん

「当該地域の中世の歴史」について数多くの方から講演の依頼がありましたことに応えるべく、中世の古文書研究での第一人者である埼玉県立文書館・主任学芸員の新井浩文氏に、中世の当該地区にスポットをあて「資料から見た中世の蓮田・白岡」のテーマで講演をしていただきました。



地域文化遺産スタディ・会場

講師の新井浩文様から当日配布された手元資料を中心にわかり易く解説して頂き、古文書や古地図から当時の周辺地域の動き、武蔵武士の誕生(鬼窪、岩附太田、洪江氏等)、群雄割拠の時代、鎌倉、北条滅亡、観応の攪乱と鬼窪氏の動き室町幕府と鎌倉府(2人の足利将

軍)、太田道灌の登場、戦国時代の幕開け、関東管領の上杉氏と長尾景春の鉢形城の乱、等、息もつかせぬ迫力のあるご講演でタイムスリップしたように中世へと引き込まれました。

何故か語られる事が少ない当該地域の中世でしたが洪江氏開祖の白岡忠恩寺の太田資生より送られた棟別免許状(1553年)諸役免除、蓮田市、真浄寺の制札(1588年)等も話題にあげられました。「のぼうの城」で石田三成と戦い有名ななつた忍城城主、成田氏の興味のあるお話もありあつたという間の2時間でした。(飯島記)



田村会長、会場入り口にて

## 第70回

### 日本ユネスコ運動

#### 全国大会in知床

##### テーマは、持続可能な社会の構築を目指して 知床に集まろう！ユネスコの英知

日程 6月7日～8日、会場は斜里町公民館ゆめホール知床7日9時半斜里混声合唱団のユネスコの歌で幕が開いた。北海道ユネスコ連絡協議会による開会宣言、松田連盟会長の主催者挨拶、外務省国際文化交流審議官・斉木尚子氏、文部科学省国際統括官・加藤氏、北海道知事、アジア太平洋ユネスコ協会連盟名誉会長、中国ユネスコ協会クラブセンター連盟会長・陶西平氏韓国ユネスコ協会連盟会長・柳在乾氏と続き、歓迎のこ

とば斜里町長・羅白町長と続く。全国大会10回出席者表彰の後、松田会長から記念講話があった。11時30分から世界遺産の危機、石弘之氏の基調講演があった。午後からは日本の第一線で活躍中の著名な4人の学者によるパネルディスカッション「地球環境の保全を」知床から考える」をテーマで行われた。終了後、知床財団創立者で元斜里町長・牛来昌氏の提言「知床は未来に何を示し、何を残せるか」があった。



ユネスコ全国大会・講演の様子

知床が自然世界遺産になるまでの苦闘認められからの問題、取り組みべきテーマを牛来氏が力強く語った。その後、ユネスコスクール加盟校の高校生による若者の集い、知床から何を学び、知床のためになにが出来るか斜里高校、羅白、清里、標津高校生が、各校独自の対策、活動内容が発表された。

閉会式の中で来年度は開催地、和歌山県の案内紹介があり、開催日は6月6日に決定された。レセプション会場は知床第一ホテル、1時間近くのバス移動であった。第2ステージは、杉並ユネスコ協会に同席させて戴きました。寄居地方ユネスコ協会の皆様とも親交を温めたところです。

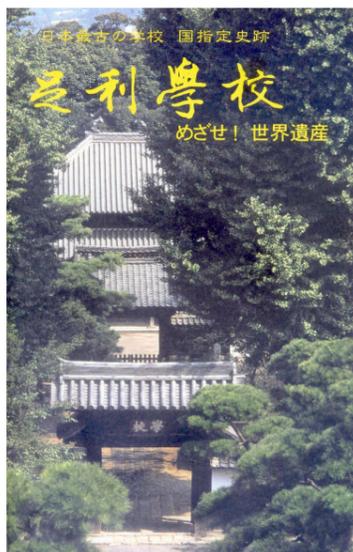
### 編集後記

(半田記)

今回初めて、会報「きずな」を作成させて頂きました。読み難い点が多々あったと思います。今後ともよろしくお願いたします。(小野寺記)

# 第10回文化遺産めぐり

## 足利市「足利学校」& 「鏝阿寺本堂」見学



### 足利ユネスコ協会さま、大変お世話になりました。

平成26年1月26日(日)寒気すさまじい日となりました。栃木県足利市の「足利学校」と隣接の「鏝阿寺」の2か所を16名の参加者にて実施いたしました。今回初めての2か所見学となり有意義な一日でした。以前より交流のある足利ユネスコ協会会長、間宵氏・副会長、堀江氏の丁寧なるお出迎えをいただきました。特に足利市民文化賞を受けられました堀江さまの懇切丁寧な説明をいただきました事は大変



参加者

が保存されているとの事です。

その後、隣接する足利氏の居館跡に建てられ昨年8月に国宝に指定された鏝阿寺本堂も併せてご説明見学させていただきました。

足利ユネスコ協会さまには、厳寒の中、大変お世話になりました。心から感謝申し上げます。(江口記)



鏝阿寺

平成26年5月24日(土)晴天に恵まれ12名の参加者にて実地いたしました。前回に引き続き2か所を見学となりました。総合的な盆栽文化を発信する世界で初めての公立の「盆栽美術館」として①盆栽に関する研究センター、②さいたま市の新しい観光拠点、③盆栽活動活性化の一助を方針と掲げて設立され、2017年に「世界盆栽展」が予定されており、学芸員さんより室内展示に部屋の格式を”真”行”草”の3つの座敷飾りにそれぞれに合わせた盆栽の飾り



# 第11回文化遺産めぐり

## さいたま市「大宮盆栽美術館」& 「埼玉県立・歴史と民俗の博物館」見学

方のご説明いただきました。

徒歩にて盆栽村を通り、次の「歴史と民俗の博物館」に着きました。ボランティアガイドさんの能弁でユーモアたっぷりのご説明を頂きました。蓮田市の寅子石(レプリカ)に、実物と展示されて室内での大きさに圧倒されました。鎌倉時代の1300年代辻谷の里の長者に寅子という美しい一人娘がおり若者たちから縁談の申込が絶えませ



寅子石(蓮田市)

### 「書き損じハガキ・キャンペーン」について

書き損じハガキがご自宅、会社、引出に眠っていませんか？書き損じ回収箱、白岡郵便局にもご協力頂き設置しました。



ATM横面

これにより蓮田郵便局、蓮田駅東口郵便局、西新宿郵便局の4ヶ所に設置することが出来ました。世界には学校に行けない子供達が5700万人います。例えばカンボジアではハガキ11枚で1か月教育を受けられます。

平成25年度、当協会では書き損じハガキ528枚 現金2320円 テレカ410度 切手3枚を寄付して頂きました。世界の読み書きが出来ない人々に・・・眠っている書き損じハガキを、是非、回収箱に！当協会では途上国の識字

んでした。娘はどなたかの所へ嫁いでいいのか悩んだ末自害し、供養塔が建てられこれが寅子石と呼ばれるようになったとの説、高さ4mで二番目の大きいもので県指定有形文化財・考古資料となっております。

(江口記)



大宮盆栽美術館内・参加者



埼玉県立・歴史と民俗の博物館

率アップに貢献してゆきたく、よろしくお願い致します。

### 第12回文化遺産めぐり 次回11月15日(土)

#### 日高市 高麗神社を見学 予定しております。

#### ⑤ 御神門



高麗神社御神門

#### ⑦ 御社殿・御本殿



高麗神社御社殿・御本殿

### 会員紹介

#### 井上 和子

(いのうえ かずこ)



#### 松沢 晴子

(まつざわ はるこ)



①出身地  
②今までの歩み  
③ユネスコ活動について  
(敬称は省略しています。)

① 埼玉県加須市出身、川崎で生まれましたが、疎開で加須市に移住しました。  
② 学校卒業後、会社勤めをしました。結婚して白岡に住んで47年になります。  
③ 明るい社会作り会のボランティアを少しですがお手伝いをしております。趣味は編み物とグラウンドゴルフをして楽しんでおります。ユネスコ協会へは、長年友人としておつき合いをしています。平賀さんの勧めで入会いたしました。これから宜しくお願いたします。

① 群馬県館林市出身(白岡市在住41年)  
② 短大卒業後、栄養士として某建設会社に勤務。結婚後いくつかのパートをしながら、生協・PTAの活動をしてまいりました。主人の起業後はこれをサポートして、約20年、日本橋浜町白岡を行きました。その後は親の介護、自分の入院等々がありまして。今は麻雀にはまっております。  
③ ユネスコに参加させていたいただいて新たな社会との接点を持ちたいと思っております。

#### 小野寺 貞幸

(おののら さだゆき)

① 新潟県加茂市出身  
② 26年前、蓮田の山口真司と縁あって結婚をし市民になりました。その後、蓮田市議会議員として15年たちました。蓮田で子供を産み育てながら、私も大人として育てられたと思っております。末長くよろしくお願いたします。  
③ 勉強させて頂いたユネスコスクールを議会で取り上げました。同じ会員の西山教育長がすでに推進の準備をしているとの答弁で、ユネスコの考え方の大切さを改めて知りまし  
① 山形県酒田市生まれ。江戸・明治時代に栄えた日本海側の港町です。  
② 昭和46年に上京、某家電メーカーの子会社で医療情報機器の販売・管理等を手掛け3年前に定年退職いたしました。埼玉県には22年前に移り住み、この地域を全く知らずに都内通勤のサラリーマンを過ごしてまいりました。老後は、前職の仲間とゴルフ・飲み会だけで将来のことを考えると少し寂しさを感じておりました。  
③ 当ユネスコ協会を通じ埼玉を学び、家族がお世話になったこの地域に何か貢献出来ればと思っております。

### たくさんのお知らせをお待ちしております。